

昔の中島は相模川の中州 同じ地震が起きたら!!

図1



関東大震災は 震度7 多くの災害発生

相模トラフを震源にした海溝型地震(図2)

- 建物の倒壊と火災発生
- 津波発生—5~6メートル
- 土砂災害—根府川駅ホームが海中へ没す
- 軟弱地盤所で液状化現象—家屋の倒壊
水道管、下水管断裂

旧相模川橋杭浮上 (茅ヶ崎市下町屋)
液状化した水田の中から橋杭が地上に現れた。
鎌倉時代に当時の相模川に架けた橋の橋脚である
と考証され、国の史跡に指定された

図2



1. 停電対策&情報取得…乾電池式ラジオが有用

- 携帯・スマホの充電と、外部バッテリーの用意
- 懐中電灯、ランタンなど照明器具と乾電池
- 電源不要な暖房器、簡易コンロ

2. 食料不足…1週間分の備蓄(普段の備えとしてローリングストックを活用・図3)

- 水…1人3ℓ×7日×家族人数=ストック量
- 食材…1人3食×7日×家族人数=ストック量

※ 乳幼児がいる家庭は年齢に合わせた用品を独自に備蓄する
(ミルク、食料、おむつ常備薬など)

図3



3. 断水、そして液状化現象

- トイレや下水道の使用中止 → 簡易トイレ使用
- 生活用水確保(ため水、風呂水の利用) 井戸水の活用

—水を使わない用品(シャンプー、消毒液、ラップなど)

簡易トイレを備えよう…1人5回×7日×家族人数=ストック量

